

青の煌めき^{きら}あおもり国スポ・障スポ

セーリング競技リハーサル大会

大会装備規程 9/11 変更版 ※2.2(6)③を削除

1 一般要件

- 1.1 本大会に参加するすべての艇はクラス規則及び本指示書、実施要項（レース公示に相当）、帆走指示書に含まれる規則に従い検査される。ただし、各規則間で検査上矛盾が生じる場合はクラス規則及び本規程が優先する。

1.2 装備の検査（大会計測）の流れ

流れ	留意事項
①受付（総務報道部）	識別番号・識別マーク（ひし形）
②計測シートを用意する	太線枠内を記入しておくこと。（大会 HP テクニカル委員会頁より各自ダウンロードし A4 サイズにて印刷すること）
③計測順番について	各クラスとも先着順で計測を実施する。 9 月 12 日（金）の 10：30～10：45 と 12：00～13：00 15：00～15：15 は休憩時間とし計測は行わない。（時間は前後する可能性がある） 計測日程は実施要項を参照
④必要書類用意	1.4 を参照
⑤各計測所にて受付	1.3 を参照
⑥検査	2 及び 5 を参照

1.3 計測受付・計測場所について（変更になる場合もある）

各計測場所前に各計測受付所があります。

470 級	克雪ドーム内計測所
420 級	克雪ドーム内計測所
テクノ293 級	ウインドサーフィン計測所テント
セーリングスピリッツ級	克雪ドーム内計測所
ILCA 6 級 及び ILCA 7 級	克雪ドーム内計測所
スナイプ級	克雪ドーム内計測所

1.4 必要書類について

艇種	確認書類	
	計測シート	計測証明書類
470級	必要	MC/MF (計測証明書)
420級	必要	MC/MF (計測証明書)
セーリングスピリッツ級	必要	不要
国スポウインドサーフィン級	必要	不要
ILCA 6級	必要	不要
ILCA 7級	必要	不要
スナイプ級	必要	MC/MF (計測証明書)

※ 艇体とセール番号が異なる場合は、それぞれの「計測証明書」を持参すること。

※ 計測シートは、太枠内を事前に記入しておくこと。

※ MC/MFは必ず原本を持参のこと。

2 装備の検査（大会計測）

2.1 検査対象装備品について

- ① 470級、420級、セーリングスピリッツ級、ILCA 6級、ILCA 7級

計測する艇体、セール、スパー、艀装品は、1艇1セットとする。

- ② テクノ293級

1つのボードに2枚のセールの使用が許可される。

マストの本数、センターボード・フィンの枚数に制限は無い。使用予定の全ての計測を行う。

- ③ スナイプ級

セールは2セットそれ以外の装備は1セットとする。

2.2 検査する艇体、セール、スパー、艀装品等について

(1) 470級の検査準備

- ① 艇は乾燥状態でなければならないが、雨天時は別途TCより指示を行う。
- ② マストを倒し、センターボードを艇体から取り外し、ラダーはラダーストックから取り外して持ち込むこと。
- ③ 個人用浮揚用具（PFD；スキッパー、クルー両名）及び曳航ロープの確認を行う。PFDはレースで使用するものを持参のこと。

(2) 420級の検査準備

- ① 艇は乾燥状態でなければならないが、雨天時は別途TCより指示を行う。
- ② マストを倒し、センターボードを艇体から取り外し、ラダーはラダーストックから取り外して持ち込んで下さい。
- ③ **少年女子420級は、クラスルールに基づき本指示書6に規定された赤色ひし形の識別マークを貼付しておくこと。**
- ④ 個人用浮揚用具（PFD；スキッパー、クルー両名）及び曳航ロープの確認を行う。PFDはレースで使用するものを持参のこと

(3) セーリングスピリッツ級の検査準備

- ① 完全艀装状態で実施する。ただし、セールについては当日指示する。
- ② 曳航用ロープの長さをすぐに計測できるように準備をしておくこと。
- ③ 年登録証の貼り付けを確認しておくこと。
- ④ 個人用浮揚用具（PFD；スキッパー、クルー両名）の確認を行う。レースで使用するものを持参のこと。

(4) 国スボウインドサーフィン級の検査準備

- ① ボードは乾燥状態でなければならないが、雨天時は別途TCより指示を行う。
- ② センターボード、フィン、外した状態とする。
- ③ フィンは使用するものをすべて提示すること。ボードの重量計測に用いるフィンは最も軽いものとする。
- ④ センターボードは使用するものをすべて提示すること。ボードの重量計測に用いるセンターボードは最も軽いものとする。
- ⑤ セールはエリア計測を行なえる状態のこと。(2枚/1艇まで使用許可)
- ⑥ **成年女子ウインドサーフィン級は、赤色ひし形の識別マークを貼付しておくこと。**
- ⑦ 個人用浮揚用具(PFD)の確認を行う。レースで使用するものを持参のこと。

(5) ILCA 6級・ILCA 7級の検査準備

- ① ボトムマストを立て、ブームをセットした状態でロープ類を艀装し、トップマスト、センターボード、ラダー一式、バテン一式は艇体と一緒に持参のこと。クラスステッカーが見えるようにしておくこと。
- ② コンパスを使用する選手はコンパスを持参すること。
- ③ **少年男子 ILCA 6級は、実施要項に規定された青色ひし形の識別マークをクラスルールに基づき女子識別マークと同じ位置に貼付しておくこと。**
成年女子 ILCA 6級は、実施要項に規定された赤色ひし形の識別マークをクラスルールに基づき貼付しておくこと。
- ④ 個人用浮揚用具(PFD)及び曳航ロープ(8m)の確認を行う。レースで使用するものを持参のこと。

(6) スナイプ級の検査準備

- ① **艇は乾燥状態でなければならないが、雨天時は別途TCより指示を行う。**
- ② **マストを倒し、ダガーボードおよびラダーボードは艇内においておくこと。**
- ③ ~~セールは本指示書6に規定されている位置に識別番号を貼付しておくこと。~~ (9/11 削除)
- ④ **個人用浮揚用具(PFD;スキッパー、クルー両名)及び曳航ロープの確認を行う。PFDはレースで使用するものを持参のこと。**

(7) 計測がスムーズに行えるよう、検査に不要なものは降しておく、セールはバッグから取り出しておく等準備しておくことは選手の義務である。

3 検査が済んだ艇

- (1) 検査に合格した場合、「計測シート」は返却しない。
- (2) 不合格の場合、「計測シート」を返却する。不合格箇所を修正後に計測シートを持参のうえ計測受付を行い指示に従うこと。
- (3) 検査が終了した装備にはテクニカル委員会によって検査済み証(ステッカーまたはスタンプ)が付される。
- (4) 検査が終了した艇体、ボード、艀装品及びセールはテクニカル委員長の書面による許可無く決められたエリアから持ち出してはならない。

4 艇の交換・修理について

4.1 変更

艇が大会計測(検査)を完了した後、通常行われるフィッティング、整備、調整を除き、変更を行ってはならない。

4.2 交換・修理

青森国スポリハーサル大会 HP

(URL : <https://www.racingrulesofsailing.org/documents/12188/event> より競技関連情報→各種申請→装備品の交換より入力し、申請すること。([racingrulesofsailing.org](https://www.racingrulesofsailing.org) **青森国スポーツハーサル大会のページに移動します。**)

オンラインフォームにより行うことが 困難な場合には、「テクニカル委員会」(**下北克雪ドーム内計測所付近**) で「装備品の交換」用紙を受け取り、記入後に「テクニカル委員会」に提出すること。

- ① 「テクニカル委員会」が申請を確認後、依頼者に連絡をおこなう。
- ② 修理の手配は各自で行うことテクニカル委員会は修理のアドバイス等を行わない。
- ③ 修理完了後に、「テクニカル委員会」にて交換・修理完了確認、または再計測を行う。

海上にて装備交換の必要が生じた場合は次のレースの準備信号より前に計測艇に口頭で交換の要請をすることができる。近くに計測艇が見つけれない場合 RC 艇、PC 艇に伝えることができる。この場合陸上に戻り次第、当該レース抗議締め切り時刻 30 分前までに上述の装備品の交換申請を行うこと。

- 注 1 艇体、ボード、艀装品及びセールを交換・修理しようとする艇は、上述の通り、必ず「テクニカル委員会」に申請した後に、交換・修理を行うこと。
ただし、国スポウインドサーフィン級において、ボードの 10 mm x10 mm未満の小さな欠け・凹みの充填と滑らか化については選手の責任において修理することを妨げない。(フィンボックス、マストトラッカーに接するものを除く)
- 注 2 「テクニカル委員会」への「装備品の交換」の申請の受付は、その日の最終レース終了後、またはレース委員会が「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後のどちらか遅い方から 70 分まで、若しくは 18 時までの遅い方とする。それ以降の申請については翌日 8 時より受付する。

5 レース後の検査

各種目とも、各レース終了後に、海上または陸上にて確認検査を行うことがある。対象となった艇は速やかに計測員の指示に従い、確認検査を受けること。正当な理由なく確認検査を受けない艇は抗議の対象となる。

6 セール上の識別

(1) 識別番号および識別マークの詳細は実施要項 4 競技上の規定及び方法 による。

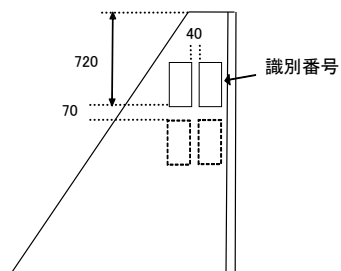
(2) 識別番号および識別マーク（ひし形）の表示位置

表示位置は、原則として次図による。ただし、クラスや国籍を示す記号及びセール番号と重ならないこと。

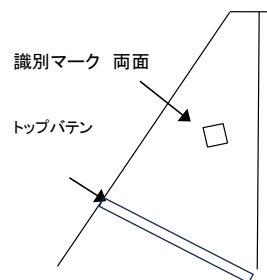
1 桁の識別番号の場合は、2 桁県番号表示位置の中間に貼り付けること。

また、各寸法については多少の誤差は許される。(単位：mm)

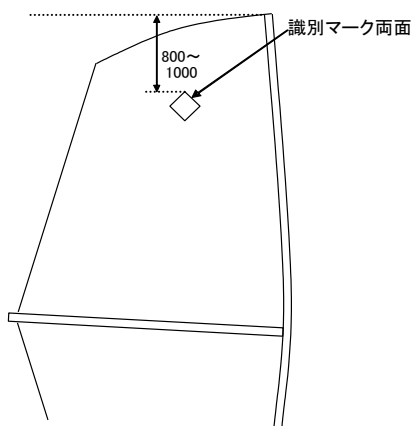
スナイプ級 識別番号表示位置



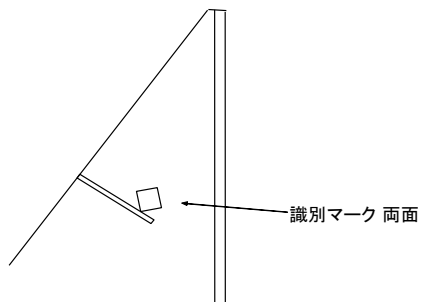
420 級 識別マーク表示位置



国スポウインドサーフィン級 識別マーク表示位置



ILCA6級 識別マーク表示位置



ILCA6 の識別マークは ILCA ハンドブック (2025 年版では 32 ページ) の図に従って貼らなければならない。男子 ILCA6 級の識別マークも女子識別マークと同じ位置に貼るものとする。